

IAIS 市中協議文書

「保険セクターのオペレーショナルレジリエンス IP」に意見提出

日本損害保険協会(会長：白川 儀一)は、保険監督者国際機構(IAIS) (※1) が10月13日から1月6日に市中協議に付した「保険セクターのオペレーショナルレジリエンスに関するイシューズ・ペーパー (IP、※2)」案に対する意見を提出しました。

1. 本文書案の概要

- ・ 本文書の目的は、保険セクターのオペレーショナルレジリエンスに影響を与える問題を特定し、COVID-19 パンデミックで得た教訓も考慮しつつ、監督当局によるアプローチの事例を示すこと。
- ・ オペレーショナルレジリエンスは広範かつ発展的な分野であることを認識したうえで、監督当局の関心事項である、①サイバーレジリエンス、②第三者外部委託、③事業継続管理の3点をサブトピックとして取り上げている。

2. 損保協会の意見の概要

- ・ 記載された内容の方向性は概ね問題ないとする。一方で、新たな施策や仕組みを実施する際には、保険セクター固有の問題や、各社のリソースを含めたそれぞれの状況、実現可能性等についても考慮すべきである。
- ・ オペレーショナルレジリエンスに関する問題は確たる解がある訳ではなく、検討段階のため、IAISでの検討状況を保険会社に対しても適宜共有いただきたい。

当協会は、IAISにおける国際保険監督基準策定の議論に積極的に参加しており、今後も市中協議等に際して本邦業界の意見を表明していきます。

(※1) 保険監督者国際機構 (IAIS)

1994年に設立され、世界200カ国・地域以上の保険監督当局(メンバー)で構成される組織。主な活動は以下のとおり。

- 1) 保険監督当局間の協力の促進
- 2) 保険監督・規制に関する国際基準の策定および導入促進
- 3) メンバー国への教育訓練の実施
- 4) 金融セクターの他業種の規制者等との協力

※日本からは金融庁がメンバーとして参加しており、当協会もステークホルダーとして積極的に関与する方針を掲げている。

(※2) イシューズ・ペーパー (IP)

トピックの背景、現行取組み、ケーススタディ等を提供し、規制・監督上の論点・課題を特定することを目的に作成される文書。監督者が文書の内容を実施することは期待されていないが、基準策定に向けた準備として作成されることが多く、IAISによる今後の作業に関する推奨を含む場合がある。

市中協議文書の原文は、以下でご覧いただけます。

<https://www.iaisweb.org/2022/10/public-consultation-on-issues-paper-on-insurance-sector-operational-resilience/>

	IP	<p>We appreciate the development of the IP and the opportunity to give feedback on it.</p> <p>We think the description is generally acceptable. However, when implementing new measures and structures, insurance sectorspecific issues, the situation of each individual insurer including resources, and feasibility should be taken into consideration.</p> <p>In addition, as discussions regarding a core solution to the operational resilience issue are ongoing, we would like the IAIS to share the discussion details with insurers, as appropriate.</p>
5		<p>Given the context, we believe that "Cyber attacks grew with the spread of the pandemic" should be revised to "Cyber attacks grew with the spread of the pandemic and the accompanyingwidespread adoption of remote working" "</p>
34	2	<p>Regarding stress testing scenarios, as risks can vary significantly according to jurisdiction and insurer, detailed scenarios should be tailored to individual circumstances.</p> <p>As such, we propose that the second sentence be revised as follows: Detailed scenarios for testing should be developed to suit each individual insurer's situation, given that risks vary widely according to jurisdiction and insurer. It should also be accompanied by appropriate followup investment to remedy identified gaps.</p>
37	32	<p>In Paragraph' & ž '] h '] g ' g h U h Y X ' h \ U h ' € K \] ' Y or Senior Management should not reasonably be expected to have expertis</p>

